

令和 5 年度 事業報告書

1. 概 況

令和 5 年度は、令和 2 年 1 月に発生した新型コロナウイルス感染症が、当年 5 月に 5 類移行されたことに伴い、社会・経済状況環境も大きく変わった年度となった。企業、県民の経済活動が徐々に活発化し、当協会のような健診機関もコロナ禍以降、がん検診・特定検診の受診率が落ち込んでいたが、県・市町村の健康に対する施策も強化されていることから、5 類移行後は受診率も回復傾向となってきた。

その中で当協会令和 5 年度は、健康会館の大規模改修後 2 年目ということで、前年度に引き続き、女性フロアの完備・3Dマンモ・OCT等最新医療機器の導入・及び5月にJKA補助金制度の利用により最新の胃・胸部医療機器搭載の巡回バス導入を十分活用して受診者増に向かって営業推進に努めた。

2. 健康診断事業

令和 5 年度は男女別フロアの完備、利便性予約の取り易さ、広い駐車場完備等をアピールし、事業所規模にとらわれることなく健康会館での施設内健診の強化を図った。

健康会館は、男女別フロアの運用になってから 2 年が経過し、今年度はお客様をできる限りお待たせしないよう取り組んだ。混み合う検査（エコー・胃部 X 線・婦人科）を優先的にご案内することで空き時間をなくし、後半の混雑緩和に努めた。

健診終了時にはアンケートのご協力をお願いし、頂いたご意見は当日の反省会で内容を発表し改善が必要なものは、すぐさま協議し改善するよう努めた。週に 1 回アンケート会議を開催し、改善点について運用状況見直しが必要か協議している。

巡回健診においては、受診数に適した時間設定を設けることで、無駄な時間を無くし効率のよい健診に努めた。また今年度は JKA 補助事業による胃胸部併用車が導入された。